

独立行政法人福祉医療機構（令和３年補正予算事業）
特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会

ひきこもりの理解促進と 支援力向上のための研修会 ～実践編(ビデオ視聴)～

= 本研修会の受講対象 =

- 2021年12月19日・2022年1月10日開催の
KHJ主催の「ひきこもり支援力向上研修会(基礎編)」を受講された方
(2022年7月16日の基礎編(ビデオ視聴)のお申し込みの方も対象)
- 2018年以降の当会主催「ひきこもり支援力向上研修会」を受講された方

研修項目	開催日時
① 家族支援	2022年7月17日(日) 9:50～16:25
② 本人支援	2022年7月18日(月・祝) 9:50～16:25
③ 地域づくり	2022年7月23日(土) 10:50～16:35
④ 多様な状況における支援	2022年7月24日(日) 10:50～16:10

※それぞれの研修項目のうち関心のあるものにご参加頂けます。
複数の日程の研修に申し込むことも可能です。

※各研修項目の定員はそれぞれ200名になります

本ビデオ研修会は、2022年2月17日～2月27日に開催した
「ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会(実践編)」の
録画した内容を、YouTubeを用いて視聴する研修会になります。
質疑応答などには対応できかねますことを予めご了承ください。

○ 研修内容 （質疑応答には対応できませんので、予めご了承ください）

研修項目①「家族支援」2022年7月17日（日）開催

No.	研修時間	研修内容
1	10:00～12:30 (途中休憩15分)	講義：「家族支援と親へのアセスメント」 ～アセスメント、危機介入、実践的理解～ 講師：境 泉洋（公認心理師、臨床心理士） 宮崎大学教育学部 教授、KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長 代表著書「CRAFTひきこもりの家族支援ワークブック」（金剛出版）
	12:30～13:30	昼休憩 ※13:25までに画面の前にお戻りください
2	13:30～14:45	講義：「本人と家族の関わり方への実践活動（事例検討）」 講師：境 泉洋（公認心理師、臨床心理士） 宮崎大学教育学部 教授、KHJ全国ひきこもり家族会連合会 副理事長 代表著書「CRAFT ひきこもりの家族支援ワークブック」（金剛出版）
4	15:00～16:15	講義：「親とは異なる立場のきょうだい支援」 ～きょうだいへのアプローチと個別支援～ 講師：深谷 守貞（社会福祉士） KHJひきこもり兄弟姉妹の会」における支援活動を実践

ひきこもり状態から生じる社会的孤立は、様々な社会変化の状況の中でより複雑に課題が絡み合うことが少なくありません。特に8050と呼ばれる状況では、本人だけでなく親の要介護やきょうだいの生活など家族や地域社会にも影響を及ぼし、喫緊の課題なる場合が少なくありません。

ひきこもり支援の実践活動の中では、一機関や一支援者だけでは取り組むことが困難な状況が多く、対応に苦慮している声もKHJでは多数寄せられています。特に複合的な課題では、支援者間の認識の違いから支援方針も充分でなく、支援者の支援力の向上と併せて支援者間の連携についてもケースから試行錯誤をしていく現状があるようです。

こうした実態を踏まえ、KHJ全国ひきこもり家族会連合会では、当会の活動実践に基づき有識者との協議の上、支援者の支援力の向上を目指す研修シラバスを構築して参りました。有識者の論考や実践者の活動から蓄積された項目を、支援者の方々の現場実践に寄与するかたちで「実践編」として体系化し、昨年度に研修会を開催いたしました。

参加者からの満足度が大変高く「ひきこもりの相談対応や支援実践活動の参考になった」との評価を多数頂き、ぜひ研修会内容をもう一度視聴したいとの声も多数頂いております。昨年度の実践編研修の全編を、YouTubeを用いてオンラインで、ご自宅や職場からPCなどで視聴いただけます。

本研修を通じまして、より現場の活動に反映できる機会となれば幸いです。

研修項目②「本人支援」2022年7月18日（月・祝）開催

No.	研修時間	研修内容
1	10:00～11:15	講義：「医療・保健支援（医学的）アプローチ」 ～精神症状の見極めと地域保健、医療につなげられない時の対応～ 講師：山崎 正雄（精神科医師） 高知県立精神保健福祉センター所長、 ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会長 精神保健、メンタルヘルスに関する講演会等の講師を多数実施 ～医療的支援の基礎知識、アセスメント、感染症や生活習慣病対応～ 講師：加藤 隆弘（精神科医師） 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学准教授 代表著書「みんなのひきこもり～つながり時代の処世術～」（木立の文庫）
2	11:30～12:45	講義：「社会福祉的支援アプローチ」 ～権利擁護、社会福祉制度と活用時のアセスメント～ 講師：安藤 豊（社会福祉協議会 福祉活動専門員） 北区社会福祉協議会職員、自立相談窓口におけるひきこもり支援経験多数 ～福祉制度につなげられなかった時の対応～ 講師：深谷 守貞（社会福祉士） 「KHJひきこもり兄弟姉妹の会」における8050等の支援活動を実践
	12:45～13:45	昼休憩 ※13:40までに画面の前にお戻りください
3	13:45～14:45	講義：「本人のエンパワメントを促す心理支援」 ～長期・高年齢のひきこもり本人への個別支援の援助技術技法～ 講師：竹中 哲夫（臨床心理士） 日本福祉大学名誉教授、日本福祉大学心理臨床研究センター（心理臨床相談室） 研修指導員 代表著書「ひきこもり支援論」（明石書店）
4	15:00～16:15	講義：「多機関、多職種連携の必要性」 ～社会的孤立予防とケース共有におけるチーム構築～ ～実践事例、暴力的支援への対応～ 講師：安藤 豊（社会福祉協議会 福祉活動専門員） 北区社会福祉協議会職員、自立相談窓口におけるひきこもり支援経験多数

研修項目③「地域づくり」2022年7月23日（土）開催

No.	研修時間	研修内容
1	11:00~12:15	講義:「地域住民への理解促進と地域ネットワークの構築と活用」 ～住民の理解啓発、地域ネットワークの構築と活用、官民連携、防災対応～ 講師：中井 俊雄（認定社会福祉士、精神保健福祉士） ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授 代表著書「人口7万人の基礎自治体が独自に開設した 総社市ひきこもり支援センター『ワンタッチ』（東京法規出版）」 ～地域包括支援センターとの連携事例、ボランティアの活用～ 講師：斎藤 まさ子（保健学博士 ライフサイエンス/臨床看護学） 長岡崇徳大学看護学部 教授 代表編著「ひきこもり家族会と地域との有機的な連携構築に向けて」（ウェストン）
	12:15~13:15	昼休憩 ※13:10までに画面の前にお戻りください
2	13:15~14:30	講義:「居場所、家族会、ピア」 ～地域資源としての家族会・当事者会の設置と活用～ 講師：山崎 正雄（精神科医師） 高知県精神保健福祉センター所長、 ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会長 精神保健、メンタルヘルスに関する講演会等の講師を多数実施 ～家族会、当事者会（居場所）等における支援事例～ 講師：上田 理香（家族支援士） KHJ全国ひきこもり家族会連合会 事務局長 親のグループ相談カウンセリング等、家族・本人の心理支援多数
3	14:45~15:30	講義:「就労を望む人への受け入れ態勢づくり支援」 ～多様な働き方と就労支援、就労後のケア、就業先へのアプローチ～ 講師：中井 俊雄（認定社会福祉士、精神保健福祉士） ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授 代表著書「人口7万人の基礎自治体が独自に開設した 総社市ひきこもり支援センター『ワンタッチ』（東京法規出版）」 ～就労移行支援と若者サポートステーション～ 講師：佐藤 恵子（就労移行支援、B型作業所運営） 一般社団法人障害者就労支援協会コンフィデンス理事長 障がい者やひきこもり本人の就労支援ケース多数
4	15:40~16:25	講義:「行政とNPO 等民間支援機関が一体となった地域づくり」 ～重層的支援体制の整備と多機関・多職種連携～ 講師：中井 俊雄（認定社会福祉士、精神保健福祉士） ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授 代表著書「人口7万人の基礎自治体が独自に開設した 総社市ひきこもり支援センター『ワンタッチ』（東京法規出版）」

研修項目④「多様な状況の支援」2022年7月24日（日）開催

No.	研修時間	研修内容
1	11:00～12:15	講義：「本人のエンパワメントを促す支援のアプローチ」 ～本人への個別支援におけるアセスメントと伴走的支援～ 講義：「訪問による支援」 ～訪問支援のポイント、潜在的なひきこもり家庭への対応、支援を望まない本人・家族へのアプローチ～ 講師：船越 明子（看護師、保健師、精神保健福祉士） 神戸市看護大学看護学部教授 代表著書「ひきこもり 親の歩みと子どもの変化」（新曜社）
	12:15～13:15	昼休憩 ※13:10までに画面の前にお戻りください
3	13:15～14:30	講義：「手紙や SNS 等を用いた遠隔による支援」 ～非対面による支援の基礎と理解、手紙・電話を用いた支援、SNS など IT による支援、オンラインの居場所活動、実践事例～ 講師：田中 敦（社会福祉士） 特定非営利活動法人レターポストフレンドネットワーク理事長 代表著書「苦労を分かち合い希望を見出すひきこもり支援：ひきこもり経験値を活かすピア・サポート」（学苑社）
4	14:45～16:00	講義：「長期高年齢事例、8050（要介護等）世帯への対応」 ～長期高年齢の当事者へや家族への対応、親亡き後の対応、心理支援に基づく実践事例～ 講師：竹中 哲夫（臨床心理士） 日本福祉大学名誉教授、日本福祉大学心理臨床研究センター（心理臨床相談室） 研修指導員 代表著書「ひきこもり支援論」（明石書店） ～8050世帯、要介護帯等、多職種・多職種連携の実践事例～ 講師：深谷 守貞（社会福祉士） 「KHJひきこもり兄弟姉妹の会」における8050等の支援活動を実践

○ 参 加 費 各研修項目（1日）につき 4,000円

- ※ 研修会は個人でのお申込みになります。
1事業所から複数名参加される場合は、人数×研修日数の参加費が必要です。

= お申込みの手順と研修の参加方法 =

参加をご希望の際は、下記の(1)～(6)の項目をご記入のうえ、必ず「メール」でお申し込みください。

- (1) お名前(ふりがな) (2) ご所属 (3) 郵便番号・住所 (4) 電話番号(研修当日連絡のつく番号)
(5) 希望する研修項目の番号
【 ①家族支援(7/17) ②本人支援(7/18) ③地域づくり(7/23) ④多様な状況の支援(7/24) 】
(6) 研修に参加される方のメールアドレス
(7) 2018年以降にKHJ主催の支援者研修会に参加された方は、受講年と研修名

※一つの事業所で複数名の参加を希望される場合は、一緒に参加する方のお名前と
個々のメールアドレス・電話番号もお書き添えください。

※請求書や領収書が必要な場合は、お申込み時にその旨をご記入ください。

**【お願い】事務上の都合で、受講のお申込み及び、参加費のお振込みは、
基礎編研修会とは別々をお願いいたします。**

【お申し込みのアドレス】 (lectureは「レクチャー」の綴りです)

lecture@khj-h.com 「KHJ ひきこもり支援研修（オンライン実践編）」係
※メールにて「参加費振込案内」をご返信いたします。

【申込締切】 2022年7月13日（水）

個人情報適切に管理し、研修事業のみに使用いたします。

お申込みされた方には締切日(7/13)以降に、
「研修テキスト」のダウンロード先、及び「視聴する YouTube アドレス」の URL を
お申込み時のメールアドレス(参加申込者)にお送りします。
事前にテキストをダウンロードの上、研修にご参加ください。

参加者自身の PC 環境の不具合などによる接続の不具合、画像の乱れ、
また不具合による研修不参加については、当会では対応できかねます。
お手持ちの端末の Wi-fi 環境などは十分にご留意ください。

問い合わせにつきましては全て、メール(lecture@khj-h.com)にて対応いたします。

= お問い合わせ =

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301

E-mail: lecture@khj-h.com Homepage: <http://www.khj-h.com>